



# SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2024～2025年度 RI会長 ステファニーA.アーチック  
RIテーマ ロータリーのマジック

クラブテーマ「ロータリーの理解を深め、地域社会にロータリーのマジックを広めよう」

会長 仲原実圭 幹事 原 兄多

## 第1570回 例会

2024.7. 5(金)曇

司会：高村勝則君

ロータリーソング「奉仕の理想」 指揮：杉山寿美子君

事務所 三島市泉町9-8 1F南  
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210  
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

## 会長挨拶

会長 仲原実圭君



2024～25年度がいよいよスタートしました。  
本年度会長を務めさせていただきます仲原です。

まずは本日より新しい仲間となっただきました入江俊介さん、新井博薫さん、高橋麻子さん、ようこそ！  
そして第1例会よりお越しいただきました三島西RCの古屋英将さんようこそお出でくださいました。ありがとうございます。

前期は、クラブの35周年、米山補佐担当の第1グループIMと2つの大イベントが有り、皆様も忙しい1年だったと思います。本年度は、そのようなイベントはございませんが前期よりスタートした青少年奉仕委員会、新たな企画の親睦委員会、クラブ研修リーダーと一体化したクラブ研修委員会など一新させたものや変化する委員会等あるので、それに伴い15回のクラブ協議会を予定しております。

また、前期改定したクラブ細則、内規もそれに伴い更に改定されることになると思われます。

奉仕活動につきましては近年の活動を継承しつつ地域コミュニケーションを広げる活動を行っていく予定です。国際奉仕についても本年度もカンボジアにて行う予定です。ここでカンボジアの奉仕については前年度ガバナーや第2620地区の財団委員会が当クラブの活動を宣伝してくれた関係からかなり浸透してきたように見受けられます。そんな関係もあり地区からグローバルにチャレンジしてみてもどうかとの話も出ています。この件について委員会の方と検討してみたいと思います。

また、各委員会はいろいろなプログラムを企画しています。各委員長及び委員会の皆様よろしくお願い致します。

さて、恒例の会長挨拶ですが何のとりえもない私はこれと  
いって話すような自慢話もないので、ロータリー財団の活動・しくみなどをロータリーの友やニュースレター、マイロータリーなどから少しずつ紹介していこうと思います。7月のロータリー月間は母子の健康です。  
次週から始めたいと思います。1年間よろしくお願い致します。

ようこそせせらぎ三島  
ロータリークラブへ

古屋英将君(三島西RC)

## 出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	27/38	71.05%	29/38	76.32%
今回	40/41	97.56%	会員総数	42名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

土屋(巧)君

(\*出席免除会員の欠席者 片野君)

## 幹事報告

幹事 原兄多君

仲原会長のテーマを念頭にクラブメンバーのお役に立てるよう頑張っています。

特に本年度は事務局が変わり、今まで当たり前だと思っていたことも変わることがあるかと思えます。

これを良い機会と捉え、クラブ定款、細則、内規を原則として、クラブメンバーにお願いしていきます。

ご協力のほどお願い申し上げます。

1. 例会終了後に理事会を開催します。

## クラブ協議会

クラブ管理運営委員会

委員長 服部光弥君

昨年度、クラブ創立35周年を迎え、これからの未来に向けて第1歩となる1年です。

出席委員会、親睦活動委員会、情報・文献委員会、職業分類委員会、プログラム委員会の活動を支援して参ります。

社会奉仕委員会

委員長 遠藤修弘君

本年度社会奉仕委員会委員長をつとめさせていただきます遠藤です。よろしくお願いいたします。

社会奉仕委員会の事業計画を申し上げます。

「基本理念に、社会奉仕はすべてのロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献すること。」とあります。それに沿い地元のニーズにあった地域社会に対する支援と貢献を目指します。

事業としては3つを軸に行います。

1.子ども食堂(おたまちゃん食堂)支援

2.ポリオ根絶支援活動

3.その他活動

具体的には、

★子ども食堂(おたまちゃん食堂)支援について、

・食料支援(お中元、お歳暮の時期にできるだけ多く会員に食料支援ができるよう呼びかける。)

・お玉ちゃん食堂の子どもたちの居場所と交流の場を提供するプログラムに協力し、子どもたちが安心して成長できる環境を応援(子どもの孤独問題への取り組み。)

★ポリオ根絶支援活動については、

・この時期地域クラブと合同で行われるポリオ根絶の寄付活動に積極的に取り組む

・「古着でワクチン」を継続実施

・(回収や寄付活動を通じて、世界の子供たちの健康を守る取り組みを続ける。)

★その他活動については、

・緊急時災害支援活動(災害時に物資及び人的支援の検討及び実施する。)

・近隣クラブとの合同奉仕活動

・地域にニーズにあった奉仕活動を模索し実施

子ども食堂支援は地域の枠で、ポリオ根絶支援活動は世界的に、主に子供に対して安心して成長できる環境の支援を行なってまいります。皆様、1年間ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。それでは、さっそくですが、社会奉仕活動について皆様にご協力をお願いいたします。子ども食堂に食料支援のご協力をお願いします。皆さんの会社にお中元が届いているのではないかと思います。その内の一部を子ども食堂の食料支援に使わせていただけないでしょうか。というお願いです。実は、夏休みになりますと、学校が休みのため給食がありません。本来楽しい夏休みであるにもかかわらず、不安な状況を抱えている子供がいるようです。特に支援が必要な時期も今この時ということです。お中元の1つでも構いません。多くできる方はさらに助かります。ご協力できる方は、来週、再来週の例会でお受けしますので、例会の際に持ってきてくださると助かります。また社会奉仕委員が受取に伺うことも可能ですのでその際はご連絡ください。どうぞご協力よろしくお願いいたします。

## 表彰



マルチプル・ポールハリスフェロー  
米山晴敏君

## 7月度理事・役員会報告

日時 令和7年5日(金)19時30分～20時00分

場所 呉竹(例会場)

出席者

(役職名省略)(理事)仲原、岡、服部、高橋、原、杉橋、遠藤、大村、藤川(役員兼任)、山本、高村、大川、伊丹(役員)小島(オブザーバー)米山・・・クラブ懇話会より

1. 会長挨拶(仲原会長)

2. 合同奉仕事業への支出について(職業奉仕委員会)別紙資料により説明

静岡第1グループが実施する合同奉仕事業について委員会予算から支出したい。

(意見・質問)

事業内容的に社会奉仕委員会のように思うが、職業奉仕委員会が担当なのか?

→ 今年度は合同奉仕事業の窓口は職業奉仕委員会とする。

事業の実施にあたっては社会奉仕委員会と協力して欲しい。

(議決)

一同異議なし(承認)

3. 篠木喜世君の退会について(会員増強・維持委員会)

一同異議なし(承認)

4. 地域交流会の実施について(親睦活動委員会)

別紙資料により説明

実施日のみ協議し、予算等については後日上程する。

(意見・質問)

出席扱いになるのか?

→ ゴルフをやらないメンバーもいるので例会ではない。

出席扱いにするかは検討中。

対象者は?

→ ロータリアンに限らず募集する。会員増強も兼ねる。

5. 連絡報告事項

次第のとおり

6. 連絡事項

次回理事会 8月3日(金)例会後 於:呉竹

## おめでとう

会員誕生日	7月1日	小島真君
入会記念日	7月1日	小島真君
	7月2日	高橋大輔君
	7月2日	土屋和彦君
	7月2日	野村諒子君
	7月2日	加藤正幸君
	7月3日	山田定男君
	7月5日	伊丹雅治君
	7月7日	加藤貴康君



## 入会おめでとう



新井 博薫君

生年月日:1977年4月27日  
職業分類:一般廃棄物処理業  
事業所:(有)新井商事

入江 俊介君

生年月日:1978年11月6日  
職業分類:建設業  
事業所:大和ハウス工業(株)静岡支店沼津営業所



## スマイルボックス

古屋英将君(三島西C):入江さん、新井さん、麻子さん、入会おめでとうございます。

米山晴敏君:仲原・原年度に期待しています。がんばってください。

小林勝君:仲原会長、原幹事、今年一年よろしくお願ひします。

仲原実圭君:いよいよ2024~25年度のスタートです。楽しいクラブコミュニケーションが出来るよう、奉仕・親睦活動に頑張りましょう!1年間宜しくお願ひ致します。

遠藤修弘君:仲原会長、原幹事、新年度始めましたね。どうぞよろしくお願ひします。私事です1年間休会させていただきます皆様にはご迷惑とご心配をおかけしまして申し訳ありませんでした。もどってまいりました。新人のつもりで頑張りますのでよろしくお願ひします。

杉橋聡君:年度初め、よろしくお願ひいたします。初委員長頑張ります。

矢岸貞夫君、本日から新年度が始まります。仲原会長、原幹事宜しくお願ひします。新井君が入会しますので皆様よろしくお願ひします。

山口辰哉君:今日7月5日はドジャース大谷選手の誕生日だそうです。そんな日に仲原年度がスタートです。ホームラン級の活躍期待しています。

石井司人君:新年度の出発ですね。頑張ってください。加藤正幸君:仲原・原年度スタートですね。応援してますよ!パッケージプラザカウトでは明日まで夏のビッグセールやってます。是非ご利用ください!

藤川智徳君:新年度始めましたね。仲原会長、原幹事、どうぞ宜しくお願ひ致します。遠藤さん、お帰りなさい!

高村勝則君:仲原年度スタートですね。会場監督がんばります。よろしくお願ひします。

大村典央君:新年度もよろしくお願ひします。私服のままですいません。

野村諒子君:新年度よろしくお願ひします。今年の夏も暑くなりそうです。皆さん、体に気をつけて、夏を楽しみましょう。

田村康晃君:仲原年度第1回目おめでとうございます。かけながら応援しております。



## 入会おめでとう

加藤貴康君

宮澤 友一君

生年月日:昭和53年8月3日

職業分類:造園業

事業所:(有)ミヤ企画

## 今日の料理

## ROTARY NEWS

RI会長エレクトが2024-25年度会長テーマを発表  
国際ロータリーのステファニー・アーチック会長エレクトは、2024-25年度会長テーマ「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary)を発表し、多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げよう呼びかけました。「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません」。1月8日、ロータリー国際協議会でアーチック会長エレクトは次期地区ガバナーにこう語りました。「それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです」

マクマリー・ロータリークラブ(米国ペンシルバニア州)の会員であるアーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったときにロータリーのマジックを目にしました。そのとき、汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。「少年の一人が私の袖をつかんで、『もう一度魔法を見せてと言ったのです』とアーチック氏。「もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるといふことを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になればと知ったことで、私の人生も変わったのです」

アーチック氏は、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。2025年には「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和会議を開催する予定となっています。ロータリーには、平和センターのネットワークを通じて平和を促進してきた長い歴史があると、アーチック氏は述べました。世界各地の名門大学に拠点を置く平和センターは、現在140カ国以上で活躍する約1,800人の平和フェローを育ててきました。トルコのイスタンブールにあるバーチェシヘル大学に設置される最新の平和センターでは、2025年に第1期フェローが学業を開始します。「ロータリー平和フェローシップは、紛争を終わらせ、予防するきっかけとなる平和・開発の専門家を世界各地で育成するために、20年以上前に始まりました」とアーチック氏。「この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります」

アーチック氏はさらに、ポリオ根絶へのコミットメントについても繰り返し触れ、ポリオプラス・ソサエティへの参加や、各地区でのソサエティの創設など、ポリオ根絶のために全力を尽くすよう次期ガバナーに求めました。「地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります」

また、継続と変化のバランスを取ることの必要性も強調し、どちらもロータリー行動計画の原動力であると述べました。「この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくもの」とアーチック氏。「私たちは、バランスを取るという難題に直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません」

さらに、クラブでの体験を会員にとって魅力的なものとするために必要な対策を取るよう、ガバナーに求めました。「これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれません。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません」

アーチック氏は、好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで多様性、公平さ、インクルージョン( DEI)の原則を取り入れることであると述べました。「行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえば、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても」とアーチック氏。「DEIを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注げば、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます」